

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2001-507138(P2001-507138A)

【公表日】平成13年5月29日(2001.5.29)

【出願番号】特願平10-528872

【国際特許分類第7版】

G 02 B 5/128

B 32 B 27/40

C 08 G 18/42

C 08 L 75/04

【F I】

G 02 B 5/128

B 32 B 27/40

C 08 G 18/42 Z

C 08 L 75/04

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月3日(2004.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年12月3日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第528872号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代理人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石田 敬 

4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通



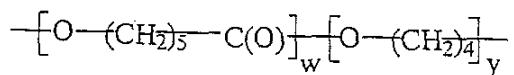
審査
印

請求の範囲

1. バインダー層に部分的に埋め込まれた再帰反射性要素の層を含んでなる再帰反射性製品であって、前記バインダー層が複数の柔らかいセグメント、複数の堅いセグメント、複数のケイ素部分、および複数のウレタン部分を含む固体のポリウレタンを含み、前記柔らかいセグメントがポリエステル単位及びポリ(アルコキシ)単位を含み、前記セグメントおよび部分の特定の化学的同一性および相対量が少なくとも500%の破断点伸び及び10MPa未満のヤング率を固体ポリウレタンに与えるのに十分なものである再帰反射性製品。

2. ポリウレタンの重量を基準にして、堅いセグメントの量が15~85重量%であり、柔らかいセグメントの量が15~85重量%であり、堅いセグメントおよび柔らかいセグメントの総量が少なくとも80重量%である請求項1に記載の再帰反射性製品。

3. 柔らかいセグメントが、
式、



(式中、wは4であり、yは7である。)を含み、堅いセグメントがジフェニレンを含む請求項1又は2のいずれか1項に記載の再帰反射性製品。

4. 柔らかいセグメントがポリエステル-ポリアルコキシ-ポリエステルABA型ブロックコポリマー-ポリオールである請求項1~3のいずれか1項に記載の再帰反射性製品。

5. 柔らかいセグメントが式:

$$Y [(A) a (B) b (C) c H] p \quad I$$

$$Y [(B) a (A) b (B) c H] p \quad II$$

(式中、Yは低分子量化合物の活性水素フリーの残基であり、(A) aはポリエステル部分であり、Aはエステル部分であり、(B) bはポリ(アルコキシ)部分であり、Bはアルコキシ部分であり、a, b及びcはそれぞれ1~10であり、pは前記低分子量化合物中の活性水素原子の数に等しい)

により表される数平均分子量が800~10,000のポリオールである請求項1~4の

いずれか1項に記載の再帰反射性製品。

6. 複数の柔らかいセグメントと、複数の堅いセグメントと、複数のケイ素部分と、複数のウレタン部分とを含んでなるポリウレタンであって、前記柔らかいセグメントがポリエステル単位及びポリ（アルコキシ）単位を含み、前記セグメントの特定の化学的同一性および相対量および比率が、ポリウレタンに少なくとも500 %の破断点伸びと、10MPa 未満のヤング率を与えるのに十分なものであるポリウレタン。

7. (i) 多価のポリエステル部分および多価のポリアルコキシ部分を含む複数の柔らかいセグメント、多価の炭素環基の複数の堅いセグメント、および複数のウレタン部分を含むイソシアネート末端ウレタン／ポリオールであるプレポリマーと、(ii) エトキシ化ビスフェノールAジオールと、(iii) 低分子量ポリオールと、(iv) メルカプトシランまたはイソシアナトシランを含む組み合わせを混合するステップ、並びに結果的に得られる混合物を周囲空気に曝して混合物からポリウレタンを形成するステップを含むポリウレタンを製造する方法であって、前記セグメントの特定の化学的同一性および相対量並びに比率が、ポリウレタンに少なくとも500 %の破断点伸び及び10MPa 未満のヤング率を固体ポリウレタンに与えるのに十分なものである方法。

8. 外面に固定された請求項1～5のいずれか1項に記載の再帰反射性製品を有する衣料製品。